

田中智志教授略歴・研究業績一覧

略歴

生年月 1958年11月
1983年 3 月 早稲田大学教育学部教育学科教育学専修 卒業
1985年 3 月 早稲田大学大学院文学研究科教育学専攻博士前期課程 修了
1987年 4 月 早稲田大学教育学部助手
1991年 3 月 早稲田大学大学院文学研究科教育学専攻博士後期課程 満期退学
1997年 4 月 東京学芸大学教育学部 助教授
2003年 4 月 山梨学院大学法学部政治行政学科 教授
2004年 4 月 山梨学院大学附属小学校 校長
2007年 7 月 東京大学より博士（教育学）の学位取得
2010年 4 月 東京大学大学院教育学研究科総合教育科学専攻 教授

研究業績一覧

凡例

本研究業績一覧は、退任を記念して刊行した『田中智志教授略歴・研究業績一覧』（基礎教育学コース、2024年 3 月）に基づき、田中智志教授の著作を掲載している。

業績は、「著書」「研究論文」「翻訳」「その他」に分類しており、各分類について「名称」「発行・発表年」「発行出版社、発表雑誌等」を発表年月順に記載している。

（一覧作成 特別号編集委員会・濱本潤毅、張亨碩）

I. 著書			
番号	名称	発行・ 発表年	発行出版社・発表雑誌等
1	「コモンスクール」	1990	細谷俊夫ほか編『新教育学大事典』第一法規出版
2	「教育におけるモラル」	1995	市村尚久／天野正治／増渕幸男編『教育関係の再構築』東信堂
3	「ポスト構造主義の教育分析」	1996	原總介／宮寺晃夫／森田尚人／今井康雄編『近代教育思想を読みなおす』新曜社
4	「教育方法の思想」	1996	原總介編『教育の本質と可能性』八千代出版
5	「言説としてのペダゴジー」	1999	田中智志編『ペダゴジーの誕生』多賀出版
6	「統治する教育の誕生」	1999	同上
7	「愛あふれるペダゴジーの誕生」	1999	同上
8	「教育する空間の誕生」	1999	同上
9	「ペダゴジーの存立規制を問うこと」	1999	同上
10	「教育の本態」	1999	田中智志編『〈教育〉の解説』世織書房
11	「〈学び〉の社会環境」	1999	同上

12	「ポスト構造主義的教育理論」	2001	増渕幸男／森田尚人編『現代教育学の地平——ポストモダニズムを超えて』南窓社
13	「教育に対するテロリズム」	2001	情況出版編集部編『教育の可能性を読む』情況出版
14	「フーコー『自己のテクノロジー』」	2001	佐藤学編『教育本 44』平凡社
15	『他者の喪失から感受へ——近代的教育装置を超えて』	2002	勁草書房
16	『教育学がわかる事典』	2003	日本実業出版社
17	「自己言及する教育学」	2003	田中智志／森重雄編『〈近代教育〉の社会理論』勁草書房
18	「ケアリングの経験」	2003	市村尚久／早川操／松浦良充／広石英記編『経験の意味世界をひらく——教育にとって経験とは何か』東信堂
19	「ポップ感覚から浮遊感覚へ」	2003	森田尚人／森田伸子／今井康雄編『教育と政治——戦後教育史を読みなおす』勁草書房
20	「教育の共生体へ」	2004	田中智志編『教育の共生体へ——ボディ・エデュケーションの思想圏』東信堂
21	「制度としての近代教育」	2004	同上
22	「ルーマンの教育システム論」	2004	田中智志／山名淳編『教育人間論のルーマン——人間は教育できるのか』勁草書房
23	「教育は社会化を制御できるのか」	2004	同上
24	「教育システムのコードとは何か」	2004	同上
25	「自己創出する人間を教育できるか」	2004	同上
26	「自己創出のなかの生成」	2004	同上
27	『臨床哲学がわかる事典』	2005	日本実業出版社
28	『人格形成概念の誕生——近代アメリカの教育概念史』	2005	東信堂
29	「ケアリングのモラル形成」	2005	越智貢／金井淑子／川本隆史／高橋久一郎／中岡成文／丸山徳次／水谷雅彦編著『応用倫理学講義 6 教育』岩波書店
30	「矯正教育における少年の形象」	2007	広田照幸監修『リーディングス 日本の教育と社会 9 非行・少年犯罪』日本図書センター
31	「グローバルな学びへ」	2008	田中智志編『グローバルな学びへ——協同と刷新の教育』東信堂
32	『教育思想のフーコー——教育を支える関係性』	2009	勁草書房
33	『社会性概念の構築——アメリカ進歩主義教育思想の概念史』	2009	東信堂
34	「知識」	2009	田中智志／今井康雄編『キーワード 現代の教育学』東京大学出版会
35	「カリキュラム」	2009	同上
36	「人格」	2009	同上
37	「学ぶと教える」	2009	同上
38	「教育評価」	2009	同上
39	「教育学」	2009	同上
40	「教育システムの機能」	2009	関啓子編『近代ヨーロッパの教育の葛藤——地球社会の求める教育システムへ』東信堂
41	「デュルケームと教育科学」	2009	今井康雄編『教育思想史』有斐閣
42	「デューイと新教育」	2009	同上
43	「学びを支える活動へ」	2010	田中智志編『学びを支える活動へ——存在論の深みから』東信堂
44	「科学実験ショーに没頭する」	2010	同上

45	「はじめに」	2011	田中智志編『教育学の基礎』一藝社
46	「教育システム」	2011	同上
47	『教育臨床学——〈生きる〉を学ぶ』	2012	高陵社書店
48	「プロジェクト活動を考える」	2012	田中智志／橋本美保編『プロジェクト活動——知と生を結ぶ学び』東京大学出版会
49	「プロジェクト活動と知」	2012	同上
50	「「協働自治」に向かうカリキュラム」	2012	同上
51	「プロジェクト活動と知」	2012	同上
52	「プロジェクト活動という指標」	2012	同上
53	「共存在の主体——デリダの「生き残り」と正義」	2012	田中毎実編『教育人間学——臨床と超越』東京大学出版会
54	「教育とは何か」	2013	田中智志／橋本美保編『教育の理念・歴史』一藝社
55	「教育の理念・歴史」	2013	同上
56	「倫理的基礎——教育を支える愛」	2013	森田尚人／森田伸子編『教育思想史で読む現代教育』勁草書房
57	『教育相談』	2013	田中智志／橋本美保編、一藝社
58	『特別活動論』	2013	田中智志／橋本美保編、一藝社
59	『教育課程論』	2013	田中智志／橋本美保編、一藝社
60	「音楽教育を哲学する」	2014	佐藤学編『音楽の力を信じて——「音楽教育ヴァン」からのメッセージ』教育芸術社
61	『生徒指導・進路指導』	2014	田中智志／橋本美保編、一藝社
62	『教育心理学』	2014	田中智志／橋本美保編、一藝社
63	『教職概論』	2014	田中智志／橋本美保編、一藝社
64	『教育方法論』	2014	田中智志／橋本美保編、一藝社
65	『技術科教育』	2014	田中智志／橋本美保編、一藝社
66	『教育相談』	2014	田中智志／橋本美保編、一藝社
67	『教育の経営・制度』	2014	田中智志／橋本美保編、一藝社
68	『道徳教育論』	2014	田中智志／橋本美保編、一藝社
69	「デューイ教育思想の基礎」	2015	田中智志／橋本美保編『大正新教育の思想——生命の躍動』東信堂
70	「はじめに」	2015	東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センター編『海洋教育のカリキュラム開発——研究と実践』日本教育新聞社
71	「海洋教育の哲学」	2015	同上
72	「存在論的に呼応する」	2015	東京大学教育学部カリキュラム・イノベーション研究会編『カリキュラム・イノベーション——新しい学びの創造へ向けて』東京大学出版会
73	『社会科教育』	2015	橋本美保／田中智志編、一藝社
74	『図工・美術科教育』	2015	橋本美保／田中智志編、一藝社
75	『音楽科教育』	2015	橋本美保／田中智志編、一藝社
76	『家庭科教育』	2015	橋本美保／田中智志編、一藝社
77	『算数・数学科教育』	2015	橋本美保／田中智志編、一藝社
78	『国語科教育』	2015	橋本美保／田中智志編、一藝社
79	『体育科教育』	2016	橋本美保／田中智志編、一藝社
80	『何が教育思想と呼ばれるのか——共存在と超越性』	2017	一藝社
81	『共存在の教育学——愛を黙示するハイデガー』	2017	東京大学出版会
82	『教育の理念を象る——教育の知識論序説』	2019	東信堂
83	「教育哲学のデューイへ」	2019	田中智志編『教育哲学のデューイ——連関する二つの経験』東信堂
84	「デューイのコミュニケーション概念」	2019	同上

85	「連関する二つの経験」	2019	同上
86	『日本の海洋教育の原点』	2019	田中智志編、一藝社
87	『独りともに在る——スピノザの教育思想』	2020	一藝社
88	「海洋教育の再構成へ」	2020	田中智志編『温暖化に挑む海洋教育——呼応的かつ活動的に』東信堂
89	「公共善としての海へ」	2020	同上
90	「海洋教育がめざすもの」	2020	同上
91	「あとがき」	2020	同上
92	『海洋白書 2020』	2020	成山書店
93	『失われた〈心の眼〉——人間の自然とベルクソン』	2021	一藝社
94	「教育実践のプラクシス」	2021	田中智志／橋本美保編『大正新教育の実践——交響する自由へ』東信堂
95	「有島武郎の生長教育論」	2021	同上
96	「交響する自由へ」	2021	同上
97	『海洋リテラシーの理念——日本からの発信』	2022	一藝社
98	『完全性概念の基底——ヨーロッパの教育概念史』	2023	東信堂
99	『超越性の教育学』	2023	東京大学出版会
100	「心に到来する他者——アウグスティヌスとデリダ」	2023	仙台白百合女子大学カトリック研究所編『いのちと霊性——キリスト教講演集』教友社

Ⅱ. 研究論文			
番号	名称	発行・発表年	発行出版社・発表雑誌等
1	「アメリカにおける中間学区政策と広域教育サービス」	1986	『文学研究科紀要別冊（哲学・史学編）』第12集、早稲田大学大学院文学研究科
2	「ボールス＝ギンティスの再生産モデルにおける教育構造の機能」	1987	『学術研究』第36号、早稲田大学教育学部
3	「エクセレンス運動の生成過程分析の概念枠について」	1987	『教育学論集』第10号、早稲田大学大学院文学研究科教育学研究室
4	「アメリカにおけるフリースクール運動と「共同体」形成の問題」	1988	『学術研究』第37号、早稲田大学教育学部
5	「19世紀前期のアメリカにおけるコモンスクールの成立と民族宗教共同体について」	1988	『関東教育学会紀要』第15巻、関東教育学会
6	「ニューヨーク市立大学群(CUNY)におけるオープン・アドミッション——政策の事例分析」	1988	『教育学研究』第55巻第2号、日本教育学会
7	「19世紀後期のアメリカにおける公立ハイスクールの教育課程変革と中産階級の形成——フィラデルフィア市の事例分析」	1989	『文学研究科紀要別冊（哲学史学編）』第15集、早稲田大学大学院文学研究科
8	「市場モデルにみる高等教育の選抜入学制の論理とそのイデオロギー」	1989	『早稲田教育評論』第3巻第1号、早稲田大学教育学部
9	「19世紀後期のニューイングランドにおける寄宿制学校の教育理念」	1990	『日本の教育史学』第33集、教育史学会
10	「ボールス＝ギンティスの再生産論と教育変革の文脈について」	1990	『早稲田教育評論』第4巻第1号、早稲田大学教育学部
11	「ゲームの隠喩と実践の形態——ボールス＝ギンティスの社会ゲーム論」	1991	『文学研究科紀要別冊（哲学・史学編）』第17集、早稲田大学大学院文学研究科
12	「カウンツ教育思想におけるデモクラシーと教化との関係」	1991	『教育哲学研究』第63号、教育哲学会
13	「18世紀末期の徳概念とプリンストンのウィザースプーン」	1991	『アメリカ高等教育における能力観と制度変革とに関する史的研究』、文部省科学研究費補助金研究成果報告書アメリカ教育史研究会（代表立川明）

14	「完成可能性の解説・序説——教育のコード論のために」	1992	『近代教育フォーラム』第1号、近代教育思想史研究会
15	「教育を解説する思想史——なぜ教育的であるべきか」	1993	『近代教育フォーラム』第2号、近代教育思想史研究会
16	「アメリカのハイスクールにおける進級制度の史的展開——研究ノート」	1993	『後期中等教育の史的展開と政策課題に関する総合比較研究』、文部省科学研究費補助金研究成果報告書（代表手塚武彦）
17	「主体身体という装置——フーコーの批判的存在論」	1995	『駒沢大学文学部紀要』第53号、駒沢大学文学部
18	「洞察＝想像のトロポロジ——喩という往還」	1995	『駒沢大学教育学研究論集』第11号、駒沢大学文学部
19	「競争による秩序化」	1995	『近代教育フォーラム』第4号、近代教育思想史研究会
20	「愛による教育の存立——自己準拠する身体・家庭」	1996	『駒沢大学文学部紀要』第54号、駒沢大学文学部
21	「教育信仰の曙光——17世紀末期のニューイングランドにおける知の変容」	1996	『駒沢大学教育学研究論集』第12号、駒沢大学文学部
22	「教育とアメリカ革命——多文化主義のアイロニー」	1996	『アメリカ多文化社会における国民統合と教育に関する史的研究』、平成7年度科学研究費補助金研究成果報告書アメリカ教育史研究会（代表中村雅子）
23	「教育する建築空間の誕生——デミウルゴスの衰微」	1997	『駒澤大学文学部紀要』第55号、駒澤大学文学部
24	「ノーマリティの存立機制——アメリカにおける教育テクノロジーの誕生」	1997	『駒澤大学教育学研究論集』第13号、駒澤大学文学部教職課程
25	「教師の二重モード——代理審級、事後心象、そして虚構の時代」	1997	『教育哲学研究』第75号、教育哲学会
26	「コモンからパブリックへ——19世紀の教育・統治の台座」	1997	『近代教育フォーラム』第6号、教育思想史学会
27	「教育テクノロジーの根本問題——コミュニケーションと自己生成」	1999	『アメリカ公教育テクノロジーの構造研究』、文部省科学研究費補助金研究成果報告書（代表北野秋男）
28	「クリティカル・ペダゴジーの批判問題」	1999	『近代教育フォーラム』第8号、教育思想史学会
29	「教育における批判理論の存在理由」	2000	『多元文化社会アメリカにおけるオートノミーとコントロール』、文部省科学研究費補助金研究成果報告書アメリカ教育史研究会（代表羽田積男）
30	「教育にたいするテロリズム——フーコーの権力批判のアポリア」	2000	『情況』第11巻第3号、情況出版社
31	「モダンな個人の存立——フランクリンの道徳的な完全性」	2000	『教育研究年報（第一部門）』第51号、東京学芸大学教育学部
32	「冗長性のコミュニケーション——ルーマン・教育理論・ポストモダンティ」	2000	『近代教育フォーラム』第9号、教育思想史学会
33	「教育の正当化——社会理論的な考察」	2001	『教育研究年報（第一部門）』第52号、東京学芸大学教育学部
34	「教育の臨床知——クリティカルな知のモード」	2001	『近代教育フォーラム』第10号、教育思想史学会
35	「書評「架橋する知の理論へバーンステイン『教育』の社会学理論」」	2001	『近代教育フォーラム』第10号、教育思想史学会
36	「矯正教育における少年の形象——償いの臨床知」	2001	『教育学年報』第8号、教育学年報編集委員会
37	「畏われゆく他者——匿名になると、なぜ人は暴力的になるのか」	2002	『教育学研究年報』第20号、東京学芸大学教育学科
38	「他者への教育——ニヒリズムを超える脱構築」	2002	『近代教育フォーラム』第11号、教育思想史学会

39	「教育の限界を語る地平」	2003	『近代教育フォーラム』第12号、教育思想史学会
40	「力としての自己——フーコーの「諸力の関係」」	2004	『教育学年報』第10号、教育学年報編集委員会
41	「教育メディアのメタ効果」	2004	『教育哲学研究』第89号、教育哲学会
42	「アクチュアリティからの批判——カントをめぐるフーコー」	2004	『近代教育フォーラム』第13号、教育思想史学会
43	「ケアリングの存立条件——機能的分化のなかで」	2004	『他者に臨む知——臨床教育人間学 1』第1号、臨床教育人間学会
44	「他者に臨む知」	2004	『他者に臨む知——臨床教育人間学 1』第1号、臨床教育人間学会
45	「ドイツ観念論の光と影」	2005	『近代教育フォーラム』第14号、教育思想史学会(加藤守通、鈴木晶子、今井重孝との共著)
46	「教育哲学を考える」	2005	『教育哲学研究』第92号、教育哲学会
47	「音楽教育を哲学する」	2006	『音楽教育ヴァン』第6巻、教育芸術社
48	「音楽教育の臨床哲学」	2007	『音楽鑑賞教育』2007年9月号、財団法人音楽鑑賞教育振興会
49	「パラドクスを踏まえた教育実践へ」	2007	『山梨学院大学附属小学校研究紀要』第1号、山梨学院大学附属小学校
50	「関係性と暴力——子どもへの虐待は受けつがれるのか」	2007	『リフレクション——臨床教育人間学 2』第2号、臨床教育人間学会
51	「完全性への敢然性——何が人を闘争へと向かわせるのか」	2007	『近代教育フォーラム』第16号、教育思想史学会
52	「子どもたちとお金——社会的有用性の方へ」	2008	『山梨学院大学附属小学校研究紀要』第2号、山梨学院大学附属小学校
53	「自律性と更生——どのように自己を肯定するのか」	2008	『生きること——臨床教育人間学 3』第3号、臨床教育人間学会
54	「教育における『力』の概念」	2009	『近代教育フォーラム』第18号、教育思想史学会(今井康雄、広田照幸、北原崇志、田村謙典との共著)
55	「文脈構成としての探究——デューイとカリキュラム」	2009	『山梨学院大学附属小学校研究紀要』第3号、山梨学院大学附属小学校
56	「希望の肯定性——教育哲学の論じられなかったテーマ」	2009	『教育哲学研究』第100号記念特別号、教育哲学会
57	「倫理とは何か——関係性が支える倫理感覚」	2010	『理学療法ジャーナル』第44巻第1号、医学書院
58	「没頭すること——契機と含意」	2010	『教育研究』第65巻第2号、初等教育研究会
59	「完全性と力——重層する力の教育概念史へ」	2010	『社会科学年報』第30号、山梨学院大学大学院社会科学部研究科
60	「自己物語の始まり」	2010	『幼児の教育』第109巻第3号、日本幼稚園協会
61	「共存在概念の起源へ——聖パウロと「弱さの力」と「愛」」	2010	『近代教育フォーラム』第19号、教育思想史学会
62	「教育目的の倫理——教育思想史の考え方」	2010	『近代教育フォーラム・別冊 教育思想史コメンタール』、教育思想史学会
63	「利他から愛他へ」	2011	『科学』第81巻第1号、岩波書店
64	「共存在の言表——道徳と倫理感覚」	2011	『教育哲学研究』第103号、教育哲学会
65	「教育批判の根拠——デューイの協同性と宗教性」	2011	『近代教育フォーラム』第20号、教育思想史学会
66	「メリトクラシーと機能的分化——存在論的關係性へ」	2012	『現代アメリカのアカウントビリティ・アセスメント教育行政の総合的研究』、北野秋男編(研究成果報告書[2009年度～2011年度])
67	「教育の共同性とは何か——近しさの基層」	2012	『近代教育フォーラム』第21号、教育思想史学会

68	「教育再生実行会議の大学入試改革案について——主体性と有用性」	2014	『人間と教育』第81号、民主教育研究所
69	「共鳴共振する存在——ハイデガー／ティリッヒのカイロス」	2013	『研究室紀要』第39号、東京大学大学院教育学研究科基礎教育学研究室
70	「大正新教育の思想史へ——躍動する生命の思想」	2013	『近代教育フォーラム』第22号、教育思想史学会
71	「主体的な学びとは何か」	2013	『京都大学高等教育研究』第19号、京都大学高等教育研究開発推進センター
72	「アガペーと共現前——マルセルのコミュニオン」	2014	『研究室紀要』第40号、東京大学大学院教育学研究科基礎教育学研究室
73	「教育実践と教育哲学——これまでの教育哲学、これからの教育学」	2014	『教育哲学研究』第109号、教育哲学会
74	「小中学生における海洋教育リテラシーの現状——「全国海洋リテラシー調査」の成果と課題」	2015	<i>Ocean Newsletter</i> , No. 369, 海洋政策研究所
75	「存在に向かう思考——ハイデガーの「学び」	2015	『研究室紀要』第41号、東京大学大学院教育学研究科基礎教育学研究室
76	「カイロスの存在論から——教育はどのように超越性を求めうるか」	2016	『教育哲学研究』第113号、教育哲学会
77	「Ontologia of Kairos: Reflexion on Education and Transcendence」	2016	<i>E-Journal of Philosophy of Education: International Yearbook of the Philosophy of Education Society of Japan</i> , Vol. 1
78	「隠喩とイロニー——交感する心情に依る超越性」	2016	『研究室紀要』第42号、東京大学大学院教育学研究科基礎教育学研究室
79	「イマーゴへの与り——遠ざけられた共鳴共振」	2017	『教育哲学研究』第112号、教育哲学会
80	「イリイチ『脱学校化社会』再訪」	2017	『思想』第1123号、岩波書店
81	「感受性の超越性——「教育と宗教」について」	2017	『近代教育フォーラム』第26号、教育思想史学会
82	「海と人の教育学——公共財とフミリタスへ」	2017	『政策オピニオン』第62号、平和政策研究所
83	「表徴と反復——人はどのように学ぶのか」	2017	『研究室紀要』第43号、東京大学大学院教育学研究科基礎教育学研究室
84	「喚起されるアニムス——〈鏡の隠喩〉の教育思想へ」	2018	『思想』第1130号、岩波書店
85	「〈神を見る〉という隠喩——全体性なき全体性」	2018	『研究室紀要』第44号、東京大学大学院教育学研究科基礎教育学研究室
86	「「教育を支える霊性——アウグスティヌスの「心の眼」」	2019	『カトリック研究所論集』第23号、仙台白百合女子大学カトリック研究所
87	「〈鏡の隠喩〉のなかで——脱構築できない無垢」	2019	『研究室紀要』第45号、東京大学大学院教育学研究科基礎教育学研究室
88	「海洋教育がめざすもの」	2019	『世界平和研究』第45巻第4号、平和政策研究所
89	「ハルモニアという像——差異の協奏と非在の現前」	2020	『近代教育フォーラム』第29号、教育思想史学会
90	「能力で隠される力——先導する象る力」	2020	『研究室紀要』第46号、東京大学大学院教育学研究科基礎教育学研究室
91	「New Development in Ocean Education」	2020	Ocean Policy Research Institute, Sasakawa Peace Foundation (ed): <i>White Paper on the Oceans and Ocean Policy in Japan 2020</i>
92	「連帯と共存在——コロナ禍と教育学」	2020	『世界平和研究』第227号、平和政策研究所
93	「恵みに与る意志——エラスムスのアニマ」	2021	『研究室紀要』第47号、東京大学大学院教育学研究科基礎教育学研究室
94	「〈てつがく〉の美しい危うさ——ビースタの教育思想にふれつつ」	2023	『児童教育』第33号、お茶の水女子大学附属小学校 お茶の水児童教育研究会

95	「Corporeality and Education: Reconsidering the basis of 'experience' and 'connection'」	2023	<i>E-Journal of Philosophy of Education: International Yearbook of the Philosophy of Education Society of Japan</i> , Vol. 8
96	「Intelligence toward Truthfulness: Teacher's Activity of Rancière」	2024	<i>E-Journal of Philosophy of Education: International Yearbook of the Philosophy of Education Society of Japan</i> , Vol. 9: forthcoming
97	「真実に向かう知性——ランシエールの教師論にふれて」	近刊	『教育哲学研究』第129号、教育哲学会

Ⅲ. 翻訳

番号	名称	発行・発表年	発行出版社・発表雑誌等
1	第4章「洞察＝想像力」	2000	グラス・M・スローン『洞察＝想像力——知の解放とポストモダンの教育』、東信堂（市村尚久／早川操監訳）
2	第5章「生きた思考、生きた世界——洞察＝想像力の教育に向けて」	2000	同上
3	ジョン・デューイ『確実性の探求——知識と行為の関係についての研究』（デューイ著作集4）	2018	東京大学出版会（総監修）
4	ジョン・デューイ『学校と社会ほか』（デューイ著作集6）	2019	東京大学出版会（総監修）
5	ジョン・デューイ『明日の学校ほか』（デューイ著作集7）	2019	東京大学出版会（総監修）
6	ガート・ビースタ『教育の美しい危うさ』	2021	東京大学出版会（小玉重夫との共監訳）
7	ガート・ビースタ『学習を超えて——人間的未来へのデモクラティックな教育』	2021	東京大学出版会（小玉重夫との共監訳）
8	ジョン・デューイ『論理学理論の研究ほか——デモクラシー／プラグマティズム論集』（デューイ著作集2）	2022	東京大学出版会（総監修）

Ⅳ. その他

番号	名称	発行・発表年	発行出版社・発表雑誌等
1	書評「青年という虚構を実体化するもの——北村三子『青年と近代』」	1998	『近代教育フォーラム』第7号、教育思想史学会
2	辞典項目「デカルト」4編	1999	『教育名言辞典』東京書籍
3	辞典項目「イリイチ」2編	1999	同上
4	辞典項目「ヴィトゲンシュタイン」1編	1999	同上
5	書評「高橋勝・広瀬俊雄編著『教育関係論の現在』」	2005	『教育哲学研究』第91号、教育哲学会
6	書評「社会学的啓蒙に加えて——広田照幸『教育』を読む」	2005	『近代教育フォーラム』第14号、教育思想史学会
7	図書紹介「スタンリー・カベル著（斎藤直子訳）『センス・オブ・ウォールデン』」	2006	『教育哲学研究』第93号、教育哲学会
8	事典項目「義務教育」	2007	加藤尚武編『応用倫理学事典』丸善株式会社出版事業部
9	「プロジェクト活動と知——表象知と生の経験」	2011	『研究室紀要』第37号、東京大学大学院教育学研究科基礎教育学研究室
10	「図書紹介——石戸教嗣・今井重孝編『システムとしての教育を探る——自己創出する人間と社会』」	2012	『教育哲学研究』第105号、教育哲学会
11	「多面的・総合的な評価の前提——「人物本位の評価」？」	2014	『教職研修』第498号、教育開発研究所

12	「「海と共に生きる」——日本の海洋教育を考える」	2017	『月刊En-ichi』第320号、平和政策研究所「圓一」編集委員会
13	“Inatomi Eijiro”	2021	Shinichi Suzuki / Gary McCulloch / Mingyuan Gu / Parimala V. Rao / Ji-Yeon Hong (eds.): <i>The Routledge Encyclopedia of Modern Asian Educators</i> , London / New York: Routledge
14	事典項目「人間本性と人間性」	2023	『教育哲学事典』、教育哲学会
15	事典項目「人間形成と完全性」	2023	同上
16	事典項目「生と本質」	2023	同上
17	事典項目「ヘレニズム哲学とキリスト教思想」	2023	同上
18	事典項目「臨床とかけがえのなさ」	2023	同上
19	事典項目「越境と超越」	2023	同上
20	事典項目「幸福と愛」	2023	同上
21	事典項目「ギリシアの形而上学とキリスト教の存在論」	2023	同上
22	事典項目「ソクラテス以前とソクラテス」	2023	同上
23	事典項目「パウロ」	2023	同上
24	事典項目「アウグスティヌス」	2023	同上
25	事典項目「サン・ヴィクトルのフーゴー」	2023	同上
26	事典項目「トマス・アキナス」	2023	同上
27	事典項目「エックハルト」	2023	同上
28	事典項目「エラスムス」	2023	同上
29	事典項目「神の名」	2023	同上
30	事典項目「イリイチ」	2023	同上